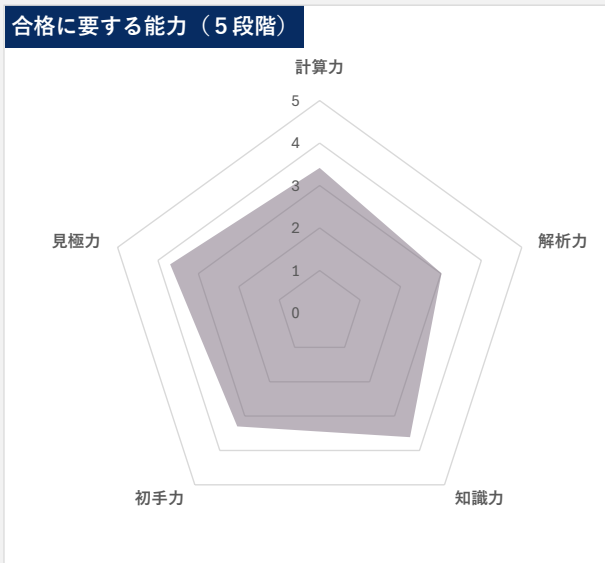


総合分析

試験区分 一般 (1日目)

制限時間 70分 大問数 全3問



合格に要する能力 (5段階)

能力	スコア	説明
計算力	3.2	高度な計算をやり遂げる力
解析力	2.8	問題文を正しく読み取る力
知識力	3.4	解くことに必要な知識の量
初手力	3.1	初手の難しさ
見極力	3.5	解きやすい問題を選択する力

特記事項 特になし

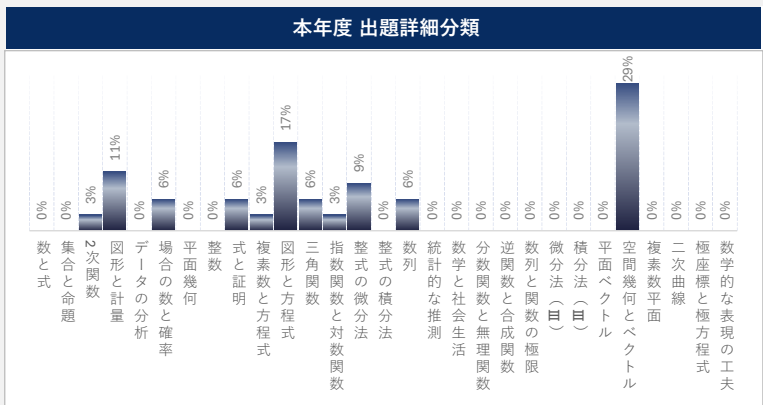
出題分野

数学 I	14%
数学 A	6%
数学 II	45%
数学 B	6%
数学 III	0%
数学 C	29%

本年度 解答形式
答えのみ記述 100%

本年度出題テーマ一覧

第1問	小問集合
第2問	空間ベクトル
第3問	三角形と内接円



特殊問題の有無

記述なし	証明なし
統計なし	数IIIなし
	長文なし

総合評価

難度	3.2	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率 (予想)	67%
分量	85分	完答に要する時間 (制限時間は70分)	やや多い	高い正答率を要する	

入試の特徴と対策

- ▶ 入試問題としてありふれた題材が多い。単純に演習量で十分に対策できる。
- ▶ 少ない単元の知識で解けるものが多い。単元ごとに公式を確認しておく。

入試から見る大学が求める学生像

制限時間を考えると分量は少し多いが、標準的な問題が多いため解く問題の選択で得点率は大きく変わるだろう。数IIIが試験範囲から除外されて以降、標準的な問題が増えていることからしっかりと基礎力のある学生を求めていると考えられる。